



戦闘が激化している中で出産したウクライナ女性 @UNFPA

## 国連人口基金(UNFPA) 駐日事務所： 「ウクライナ人道危機スナップショット第7号」

ウクライナにおけるUNFPAの支援活動にご寄付くださいました皆さま  
平素より国連人口基金(UNFPA)の活動にご理解ご支援いただきまして、ありがとうございます。  
また、UNFPAのウクライナ緊急支援にご関心やご寄付をお寄せいただきまして、心からお礼申し上げます。  
ウクライナにおけるUNFPAの支援活動の詳細につきまして、現地での支援活動をまとめた最新報告レポート  
「ウクライナ人道危機スナップショット第7号(2022年7月4-17日)」を作成いたしましたので、ご報告させていただきます。

ウクライナにおけるUNFPAの支援活動は、以下のように女性と少女をジェンダーに基づく暴力(GBV)から予防・保護する活動、そして安全な出産とリプロダクティブ・ヘルス(性と生殖に関する健康)を確保するために尽力しています。

### 1. ジェンダーに基づく暴力(GBV)への取り組み

- ・UNFPAが支援するザポリージャにある被害者支援センターは、2週間前に開設されて以来、450人以上の人々に支援を提供してきました。このセンターは、性暴力を含む紛争関連の暴力の被害者が医療・法律・心理的支援を受けられるセーフ・スペースです。
- ・人権団体のLa Stradaが運営し、UNFPAが支援する暴力被害者のためのホットラインは、電話とオンラインの2つの手段で支援を提供しています。この2週間で、1,236人から支援要請がありました。654件の通報のうち、466件がジェンダーに基づく暴力(GBV)に関するケースであり、その内の79.5%が女性から通報されたものでした。
- ・リヴィウ、ドニプロ、ウジゴロドに女性のためのキャリア・ハブを3つ設立し、GBV被害者が経済的に自立するためのサポートを行いました。
- ・30の心理社会的支援を専門とする移動式診療チームは、ウクライナ国内で合計637人にカウンセリングや情報提供を行いました。
- ・30の拠点を通じて、紛争関連の暴力を含むGBV被害者のニーズに基づき、心理社会的支援、ディグニティー(尊厳)キット、生活必需品など様々な物資を提供しています。

### 2. 安全な出産とリプロダクティブ・ヘルス(性と生殖に関する健康)の確保

- ・ロシアによるウクライナ侵攻で被害を受けたクレメンチュク(ポルタヴァ地方)、クロピヴニツキー(キロヴォフ地方)、フメルニツキー、チェルカースィの周産期医療センターがある病院に更に新たに6トンのリプロダクティブ・ヘルス・キットを届けました。現時点で、UNFPAが支援を届けた州は22州に達しました。
  - ・モバイルヘルsteamを通じて、キーウ、ヴィンニツィヤ、リヴィウで合計633人の女性と少女に対して、医療サービスを提供し専門医療機関に紹介しました。
- UNFPAの支援活動の詳細につきましては、「[ウクライナ人道危機スナップショット第7号\(2022年7月4-17日\)](#)」をご覧ください。